

東日本大震災を体験した人々の証言を集め、被害の実情を検証
『わ・す・れ・な・い～東日本大震災・命の記録』

12月30日(金)午後6時～午後8時54分放送

http://www.fujitv.co.jp/fujitv/news/pub_2011/110803-178.html

■小倉は震災発生時に自らがいた東京・青山から、安藤は今回の取材の中心地である釜石から、生レポート。

フジテレビは、12月30日午後6時から、『わ・す・れ・な・い～東日本大震災・命の記録』を放送いたします。



左から安藤優子 小倉智昭

本番組は、東日本大震災を記録した膨大な映像をもとに、自らの命を守り抜いた人々や尊い家族や仲間を失った方々、また、その時「命」を守るために活動した人たちの証言をできる限り集め、被害の実情をつぶさに検証していく番組です。

番組ナビゲーターとして、過去に東日本大震災の被災地から生中継を3度行い、東北への思いを決して忘れることなく『とくダネ!』を通じて伝え続けてきた小倉智昭と、発生直後から50時間にわたる生放送を務め、直後に被災地入りをして『スーパーニュース』で伝え続けた安藤優子が担当するほか、ナレーションに中井貴一、広末涼子を起用いたします。

<番組内容>

① 岩手県釜石市～21台のカメラが見た命の記録～

死者885人、行方不明者176人(11月29日現在・釜石市HPによる)の被害者を出した岩手県釜石市。その釜石市で集めた21台のカメラが捉えていた“生と死の境”・・・。

夫婦ともに逃げながら夫を失った妻、一旦は高台に避難しながら命を落としてしまった家族、自らも濁流に飲まれながら、一瞬の機転で人命を救った自衛隊員、膨大な映像とその当事者たちの証言から、その時、人はどう動いたのか、何故そうしたのか、そして、何が生死を分けたのか、を克明に検証します。

② 失われた1万5000名余の“命”が語る震災の真相

1万5000名を超える方々が亡くなった東日本大震災。“死”と向き合った人々の証言をもとに、その“死因”や“状況”をたどります。津波はどのように人の命を奪ったのか、津波の恐怖、津波被害の“真相”をお伝えします。

③ 津波だけではない…マグニチュード9.0の正体

今回の大地震は、日本列島を6分間にわたって揺るがしました。なぜそれほどまでに長く揺れ続けたのか、そのメカニズムに迫ります。また、地震が奪った“命”もありました。津波被害の甚大さの中で、報じられることの少なかった地震の被害。知られざる恐怖の体験に迫ります。

④ 行方不明…今なお続く捜索の現場

3000人を超える行方不明者や身元不明の遺体が存在する現状。今なお、“捜索”は続いています。手がかりを求めて海に潜るダイバー、わずかな遺留品から身元を特定していく警察など、“命の絆”を結ぶ人々を追います。

⑤ 最期の言葉が残したもの

突如、遭遇した想像を絶する災害。人々は、今わの際に何を思い、何を残していったのか、愛する人に、大切な人に送ったメッセージ。残された“最後の思い”を徹底取材します。

⑥ 失われた“家族の肖像”

“写真が見つかっただけでも良かった”というほど、何もかもを奪った津波。泥だらけの在りし日の家族写真。しかし、もう同じ写真を撮ることはできない…家族の今に迫ります。

◇『わ・す・れ・な・い～東日本大震災・命の記録』番組概要

■番組タイトル: 『わ・す・れ・な・い～東日本大震災・命の記録』

■放送日時: 12月30日(金) 午後6時～8時54分

■出演者: 出演者: 小倉智昭 安藤優子

■ナレーション: 中井貴一 広末涼子

■スタッフ: 情報制作局東日本大震災特別番組プロジェクトチーム

制作統括 堤康一、味谷和哉

プロデューサー 大野高義

総合演出 宮下佐紀子

株式会社フジテレビジョン 会社概要

社名: 株式会社フジテレビジョン

本社所在地: 〒137-8088 東京都港区台場 2-4-8

設立: 平成20年10月1日(新設分割のため)

代表者: 代表取締役社長 豊田 皓

URL: <http://www.fujitv.co.jp/>